

じゃがいもの皮もむけたよ 親子料理教室



十二月十一日(日)、沢海の横越村農村環境改善センターで中央公民館主催の親子料理教室が開催されました。これは、学校五日制に伴い県の地域活動ふれあい事業の一環として開催したもので親子あわせて十八名が参加しました。

講師で管理栄養士の吉井ユミ子さんから作り方の説明を受けたあと、午前十時

今、あなたの子供に一番必要なことは、自分で考え、自分で体験し、仲間との活動の中でルールをつくり、人や自然を思いやる心、自立心や創造力を養うこと。ボーイ・スカウト活動はこのようにバランスのとれた人間教育を行います。現在、横越村からも加入して活動している方もいますが、この組織は、中



ボーイ・スカウト募集

立、公正な組織で、中浦原部は、亀田町に本部があり、青少年の健全育成に努めています。

ボーイ・スカウトについての問い合わせは、亀田町水道町一三二の佐々木忠男さん(Tel.三二一五二九九)にお気軽に電話下さい。

短歌募集

題目 自由
締切日 1月31日(日)
投稿方法は封書で6首以内、紙筆名、年齢、住所を明記し、横越村中央公民館「文芸作品係」にて先着優先

文芸欄 (公業作品)

短歌

長雨のやまぬ畑を見廻れば茄子の下葉は黄ばみ
落ちたり (沢海) 伊藤 吉作
すすき野に立ちて遠く山をみる山肌隠す
ひとひらの雲 (二本木) 今井 ヒデ
庭先に季節はづれて咲く花は白と紫鉄線二輪
突然の短歌の友の死せつなくて笑顔の音が
耳にうづきぬ (横越) 佐久間 ヒロ
蜂あまた群がる故に近よれぬ花実が庭の
日向に匂ふ (木津) 佐藤 安衛
釣に行く夫を見送る明方に声をそらえて
白鳥飛びゆく (沢海) 田辺 タケノ
生味噌と焼酎だけで生きるという日出谷の柚は
白ひげ撫でる (横越) 田村 清次郎
長雨の時間が誘う狭庭にて名知らぬ鳥と
出会いたのしむ (沢海) 角 田 政 恵
いさぎよき滝の流れの轟音にとどまる悔いを
吾れは捨ており (横越) 野 沢 朱 美
柿の色西の空とよく似合う黄葉一ひら赤蜻蛉とぶ
(横越) 長谷部 元 栄

社会教育ガイド

1月の中央公民館事業 (会場は中央公民館)

- 新春俳句大会
期日 1月16日(日)
時間 午前10時
- くらしの書
期日 1月18日(火)
時間 午後1時30分
講師 小木光興氏
- 婦人大学
期日 1月19日(水)
時間 午後1時30分～3時
内容 「翻訳の世界」～日本文学を英文に翻訳してアメリカ、ヨーロッパで出版…その体験談、裏話など～
講師 新潟大学名誉教授 二宮一 次氏
- 高齢者大学
期日 1月26日(水)
内容 午前 講 演
午後 クラブ活動
- 女性教養セミナー
期日 1月29日(土)
時間 午前9時30分
講師 高橋ハナ氏

イギリスで生き生き授業を実感 連合PTA海外視察研修報告 ①



参加者とセント・アンズプライマリスクールの子供たち

横越村連合PTAでは、これからは国際理解教育・交流活動が重要になってくるといふことで昨年からは海外研修視察の話が持ちあがっていました。そして、今年度の五月の総会で事業計画に取りあげて何回も会議を重ね慎重に検討して、ついに次のとおり実現をみました。

そこで、一月号から三回に分けて、参加者の研修報告を紹介致します。

訪問国 イギリス・フランス

訪問校 イギリス

平成五年十月十六日(日)十月二十三日(日)

参加者 七名

横越中学校父母と教師の
会長 田村 泰一
副会長 酒井 共幸
帆 帆 正秀
横越小学校PTA
会長 佐藤 正明
副会長 今井 勝美
阿部 浩
横越中学校
教頭 白井 信夫



中 学 校
教頭 白井信夫

長所を大切にとても楽しい生き生きとした活動が展開されていました。

どの子供の顔も明るく瞳がきらきら輝いていました。必ず、日本語で「こんにちわ」と元氣良く挨拶をしてくれました。

皮膚の色、人種、顔形などは関係なく「人間そのものずばりが本当に大事なんだ」「一人ひとりの子供の考えが大切なんだ」という雰囲気があふれていました。

世界には、いろいろな人種があります。人種が異なれば文化・習慣・風俗も違うのはあたり前です。人間は一番大切な「心豊かな温い人間性」。「他国の文化の理解」を教育の核に据えて全職員で頑張っているという二人の女性校長の言葉が忘れられません。

ところで、今回、私にとってヨーロッパは初めての外遊であったが、百聞は一見に如かず、実際にこの目でこの肌で体験できて本当に嬉しかった。

途中、エール・フランス航空のストライキでベルギーのブリュッセルを経由したり、ドーバー海峡を渡ったりしてハブリングがあったが、今後の日本の教育の進むべき道、教育のあり方について大いに考えさせられた貴重な研修視察でした。最後に今回の海外研修視



中 学 校
PTA 父母と
会長 山田 直子

現在、日本の教育は学校五日制に始まり明治百年以来の教育改革の時期で、それは今まで学校教育に全てを任せていたのを、今後家庭、地域での教育の見直しをもって行こうとする教育体系の総合的再編成を図ろうというものです。

このような中でPTAとしても国際理解教育が重要になってきており、昨年より連合PTAで海外研修の話がでていきましたが実現できず今年度は、五月の総会で事業計画にとりあげて決議をして実現することができました。

イギリスの教育の中にはすでに日本の求めている教育があったように感じられました。

それは、学校の教育方針について質問した時に、校

長先生は、「人間尊重、協調性、他の国の文化を理解する」というすばらしいことを言われました。

そのことは、学校内での生徒達の明るい授業態度からも理解できました。

今回の研修視察でヨーロッパの歴史と文化にも接し国際感覚を養い、イギリスの小中学校を訪問して多くのことを学ぶことができました。

この経験は、今後のPTA活動はもとより村の教育振興に役立つと思います。ところで、PTAには様々な目的がありますが、私は次のようなテーマを考えています。

・生涯学習の視点にたったPTAの学習活動の重要性

・親と教師と地域の人々との連携の重要性

・国際理解教育の推進

また、PTAは、広域的に問題をとらえなければならぬことが多いだけに単位PTAの枠の中だけで、物事を考えるのではなく連合体の組織で活動するのが重要になってきていると感じています。

最後に村を始め関係各位のご理解とご協力での画期的なPTA海外視察研修事業を成し遂げられたことを心から感謝申し上げます。